

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が2例(70歳代男性及び40歳代女性)ありました。本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ **急性脳炎**の報告が1例(10歳未満女性)(第6週追加報告分)ありました。症状は発熱・痙攣・意識障害です。本年初めての報告です。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(80歳代女性)あり、症状は発熱、菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は9例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が1例(40歳代男性)(第6週追加報告分)あり、症状は梅毒性バラ疹です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は6例となりました。
京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を匿名で実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>
- ・ **百日咳**の報告が1例(10歳未満男性)ありました。症状は持続する咳、夜間の咳き込み、スタッカート、嘔吐です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は9例となりました。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症は、発熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴えることが多いことが特徴ですが、特異的な症状・所見は無く、インフルエンザ等の他の呼吸器感染症との鑑別が重要です。京都市の対応等をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 2例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 33例(肺結核 18例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 13例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類:急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 9例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

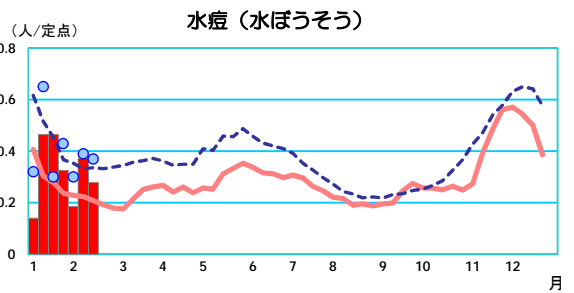
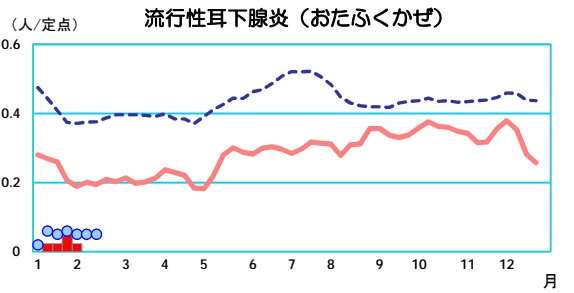
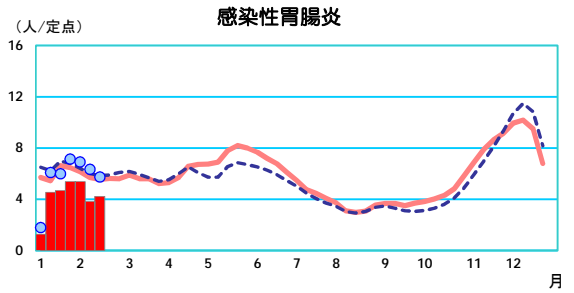
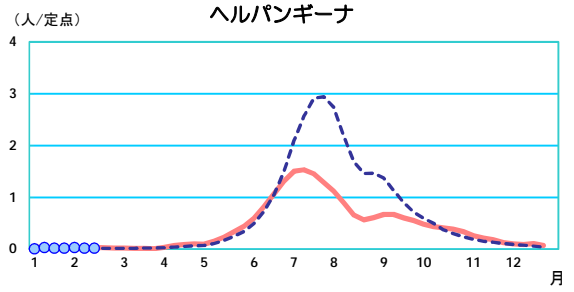
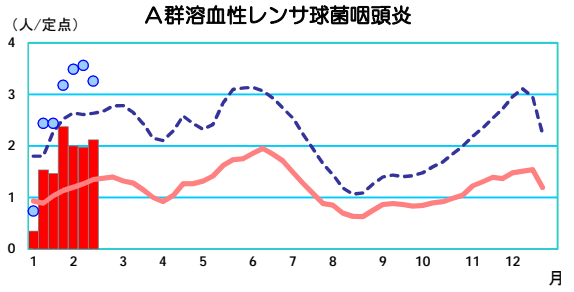
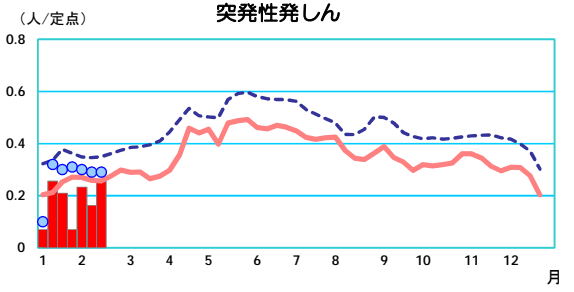
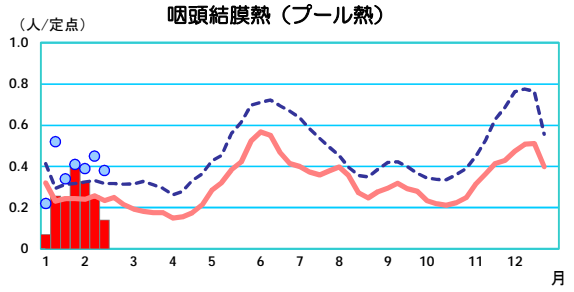
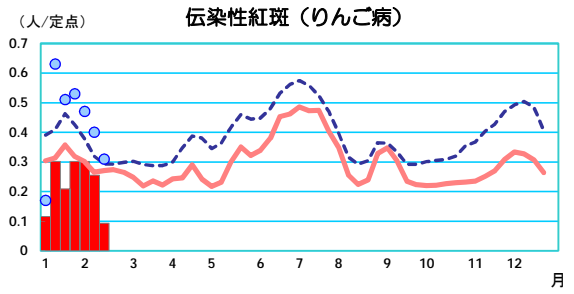
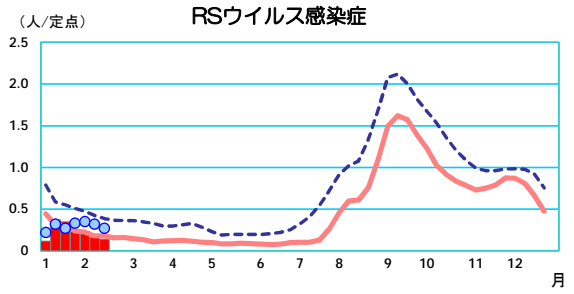
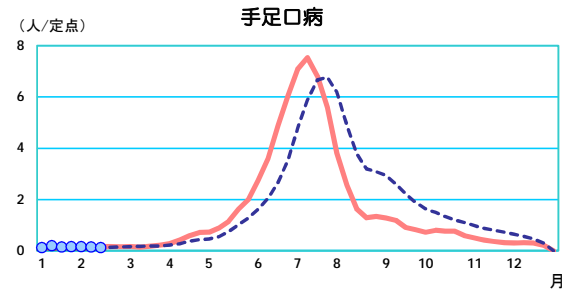
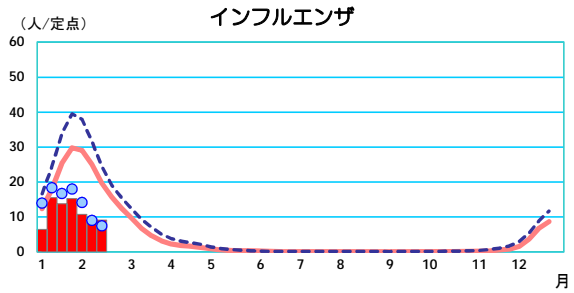
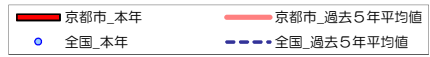
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	9.09	627
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.23	182
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.12	91
	③ 水痘	0.28	12
	④ 突発性発しん	0.26	11
	⑤ RSウイルス感染症	0.14	6
	⑤ 咽頭結膜熱	0.14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2020年2月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



第7週(2月10日～2月16日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症は、発熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴えることが多いことが特徴ですが、特異的な症状・所見は無く、インフルエンザ等の他の呼吸器感染症との鑑別が重要です。医療機関で除外診断ができない場合は、「疑い例」として保健所に届け出た後、地方衛生研究所でウイルス検査が実施されます。

新型コロナウイルス感染症の「疑い例」は、以下のように定義されています。

- ・発熱又は呼吸器症状(軽症の場合を含む)を呈する者であって、新型コロナウイルス感染症であることが確定したものと濃厚接触歴があるもの
- ・37.5度以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内にWHOの公表内容から新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域(注)に渡航又は居住していたもの
- ・37.5度以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内にWHOの公表内容から新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域に渡航又は居住していたものと濃厚接触歴があるもの
- ・発熱、呼吸器症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断し、新型コロナウイルス感染症の鑑別を要したもの

(注)令和元年2月14日現在中華人民共和国湖北省、浙江省です。

なお、「疑い例」の定義は今後変更される場合があります。

過剰に心配することなく、季節性インフルエンザ等と同様に咳エチケットや手洗いなど、下記のような基本的な感染症対策に努めてください。

- まめに手を洗いましょう。石鹸を使い、流水でよくすすぎましょう。
- 新型コロナウイルスに限らず、病原体は主に口・鼻・目から体に入ります。外出後や咳の後には特に、口・鼻・目に触る前に手洗いを徹底しましょう。
- 咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆うなど、咳エチケットを守りましょう。急に咳が出てしまう時は、しぶきが飛ばないように服の袖や肘を使いましょう。周りの人への感染を予防するため、マスクを着用しましょう。
- 人が多く集まる場所は、なるべく避けましょう。

京都市保健福祉局では緊急情報を提供するとともに 下記センター及び専用電話相談窓口を開設しています。

新型コロナウイルス感染症に伴う市民生活及び経済活動に関する相談窓口について

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000264614.html>

●帰国者・接触者相談センター

●新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口

1. 専用電話番号：075-222-3421
(電話番号は共通です)
2. 受付時間：土・日・祝日を含む24時間

<主な相談内容>

新型コロナウイルス感染症の疑いのある方に、医療機関を紹介し、受診方法等についてお伝えします。

1. 37.5℃以上の発熱又は呼吸器症状を呈する者であって、新型コロナウイルス感染症であることが確定したものと濃厚接触歴(※)があるもの
 2. 37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内に湖北省に渡航又は居住していたもの
 3. 37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内に湖北省に渡航又は居住していたものと濃厚接触歴(※)があるもの
 4. 発熱、呼吸器症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断し、新型コロナウイルス感染症の鑑別を要したもの
- ※ 濃厚接触とは、同居あるいは長時間の接触(車内、航空機等を含む)をいう。

(令和2年2月6日現在の内容です。)

参考情報

- 厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/index.html
- 国立感染症研究所では、人に感染するコロナウイルスについて情報を提供しています。
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-2020-01-10-06-50-40/9303-coronavirus.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第7週

疾病,行政区別報告数

2019年2月10日～2019年2月16日

データ入手日:2020年2月20日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	17	-	-	5	12	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	63	1	-	8	16	3	-	-	1	-	-	-	-						
中京	40	3	1	4	2	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	11	-	-	-	12	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	57	-	-	7	3	3	-	-	4	-	-	-	-						
下京	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	45	-	-	13	13	-	-	1	2	-	-	-	-						
右京	117	-	-	33	28	3	1	-	-	-	-	-	-						
伏見	208	2	4	14	69	1	1	2	3	-	-	-	-						
西京	53	-	-	7	27	1	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	627	6	6	91	182	12	3	4	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	1.43	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	3.40	-	-	1.67	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	9.00	0.25	-	2.00	4.00	0.75	-	-	0.25	-	-	-	-						
中京	8.00	1.00	0.33	1.33	0.67	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.67	-	-	-	6.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	8.14	-	-	1.40	0.60	0.60	-	-	0.80	-	-	-	-						
下京	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	9.00	-	-	4.33	4.33	-	-	0.33	0.67	-	-	-	-						
右京	14.63	-	-	6.60	5.60	0.60	0.20	-	-	-	-	-	-						
伏見	18.91	0.29	0.57	2.00	9.86	0.14	0.14	0.29	0.43	-	-	-	-						
西京	6.63	-	-	1.40	5.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	9.09	0.14	0.14	2.12	4.23	0.28	0.07	0.09	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第7週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年2月10日～2019年2月16日

データ入手日:2020年2月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	627	-	5	13	15	18	31	43	57	51	57	57	177	8	13	34	21	9	7	9	2
RSウイルス感染症	年齢3	6	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		6	-	-	1	1	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		91	-	1	2	9	7	10	12	12	11	3	3	12	-	9	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		182	-	11	34	21	12	13	10	16	9	8	7	13	6	22	-	-	-	-	-	-
水痘		12	1	-	1	-	3	-	2	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	5	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	9.09	-	0.07	0.19	0.22	0.26	0.45	0.62	0.83	0.74	0.83	0.83	2.57	0.12	0.19	0.49	0.30	0.13	0.10	0.13	0.03
RSウイルス感染症	年齢3	0.14	0.07	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.14	-	-	0.02	0.02	0.05	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.12	-	0.02	0.05	0.21	0.16	0.23	0.28	0.28	0.26	0.07	0.07	0.28	-	0.21	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		4.23	-	0.26	0.79	0.49	0.28	0.30	0.23	0.37	0.21	0.19	0.16	0.30	0.14	0.51	-	-	-	-	-	
水痘		0.28	0.02	-	0.02	-	0.07	-	0.05	0.09	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.07	-	-	0.02	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.09	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.26	-	0.12	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第7週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年2月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	1,068	950	1,052	744	615	627
RSウイルス感染症	16	15	10	10	7	6
咽頭結膜熱	11	10	17	14	11	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	63	102	86	85	91
感染性胃腸炎	196	201	231	231	165	182
水痘	20	20	14	8	16	12
手足口病	4	-	1	2	2	3
伝染性紅斑	13	9	13	13	11	4
突発性発しん	11	9	3	10	7	11
ヘルパンギーナ	-	-	1	1	1	-
流行性耳下腺炎	1	1	2	1	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	2	5	2	1	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	1	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	1,413	1,280	1,451	1,122	922	942

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	15.48	13.77	15.25	10.78	8.91	9.09
RSウイルス感染症	0.37	0.35	0.23	0.23	0.16	0.14
咽頭結膜熱	0.26	0.23	0.40	0.33	0.26	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	1.47	2.37	2.00	1.98	2.12
感染性胃腸炎	4.56	4.67	5.37	5.37	3.84	4.23
水痘	0.47	0.47	0.33	0.19	0.37	0.28
手足口病	0.09	-	0.02	0.05	0.05	0.07
伝染性紅斑	0.30	0.21	0.30	0.30	0.26	0.09
突発性発しん	0.26	0.21	0.07	0.23	0.16	0.26
ヘルパンギーナ	-	-	0.02	0.02	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.70	0.20	0.50	0.20	0.10	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	1.00	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	24.04	21.60	24.91	19.73	17.11	16.41

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。